

<報道関係各位>

2024年5月21日

大阪経済大学

本を媒介としたコミュニケーション装置「ほんのれん」全国の大学で初導入 教員と学生が本を囲んで対話する体験ワークショップを開催

【日時】2024年5月31日(金)14:25~16:20【場所】大阪経済大学 図書館ラーニング・コモンズ

大阪経済大学（学長：山本俊一郎/所在：大阪市東淀川区）は、図書館ラーニング・コモンズに「問い」と「本」の力で「対話」を起こす“一畳ライブラリー”「ほんのれん」を2024年3月27日（水）に導入しました。

この度、学生や教職員が「ほんのれん」を積極的に活用できるよう、本を囲んで対話する体験ワークショップを、5月31日（金）に開催します。

■本を媒介としたコミュニケーション装置「ほんのれん」を導入し、図書館の活性化を図る。

2023年9月、本学は図書館1階にラーニング・コモンズを新設して、教育・学習支援センターを併設しました。この度、学習支援の更なる活性化を図るため「ほんのれん」を導入しました。導入においては、学生の創発する力の一助にと経済界で活躍する同窓生の会「大樟春秋会」からの寄贈がありました。

「ほんのれん」は、150年以上教育・科学・文化に携わる丸善雄松堂（株）と選書&本棚空間プロデューサーを手掛ける（株）編集工学研究所が共同で運営し、学校やオフィスの図書空間の活性化のために開発されました。たたみ一畳分のオリジナルデザインの本棚には、100冊の本と毎月のテーマに沿った5冊の本と「問い」が書かれたプレートなどがセットされます。居合わせた人々は、「本」や「問い」を媒介として自然に交流することができます。

■学生と教職員に、基礎演習やゼミでの積極利用を提案するため、「ほんのれん」体験会を実施。



「ほんのれん」導入イメージ

5月31日（金）のワークショップでは、学生と教職員に基礎演習やゼミなどで活用してもらえるよう、導入事例の紹介と対話体験会を行います。40名の参加者が5名ずつの8グループに分かれ『「ニセの自分」で生きています—心理学から考える虚栄心』や『アバターと共生する未来社会』など9冊の「本」を手掛かりに“ホントの自分？アバター時代の「たくさんの私」”という「問い」について考え対話します。丸善雄松堂の「ほんのれん旬会ナビゲーター」がファシリテーターを務め、各グループをまわり、

参加者の発言を促します。また今後、「ほんのれん」を利用したワークショップを学生が企画できるよう、学内で「旬会ナビゲーター」を育成することも視野に入れていきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

大阪経済大学 企画部広報課 高濱、東 Tel: 06-6328-2431 Mail: kouhou@osaka-ue.ac.jp

大阪経済大学 広報デスク（プランニング・ポート内） 福嶋、井上 Tel: 06-4391-7156

<https://www.osaka-ue.ac.jp>

※お手数ではございますが、会場準備の都合上、5月30日（木）17時までに、上記広報デスクまで、お電話もしくは添付のFAX返信用紙、メールにてご一報願います。

「ほんのれん」体験ワークショップ概要

- 日時： 2024年5月31日（金）14:25～16:20（受付 13:55～）
- 場所： 大阪経済大学 大隅キャンパス 図書館ラーニング・コモンズ
 （住所：大阪市東淀川区大隅 2-2-8）
 Osaka Metro 今里筋線「瑞光四丁目」駅下車 徒歩約2分
 阪急京都線「上新庄」駅下車徒歩約15分、大阪シティバス「大阪経大前」「大阪経大正門」下車すぐ
- 対象： 本学学生、教職員の参加希望者 40名（5名×8グループ）
- テーマ：「～問いと対話で場の創発を促すコミュニケーション装置～」
- スケジュール： 14:25 開会挨拶
 大阪経済大学 教育・学習支援センター長 森 詩恵(副学長・経済学部教授)
 丸善雄松堂 西日本支社長兼大阪支店長 新村 岳
 編集工学研究所シニアプランナー 姜 舜伊 (かんすに)
 14:37 アイスブレイク 参加者自己紹介
 14:45 「ほんのれん旬会」体験会
 小冊子(旬感ノート)を活用した対話ワークショップ
 ファシリテーター 丸善雄松堂 ほんのれん旬会ナビゲーター
 今回の「問い」 ホントの自分？アバター時代の「たくさんの私」
 書籍
 〈今月の旬感本〉5冊
 『「ニセの自分」で生きていますー心理学から考える虚栄心』 稲垣 智則
 『「盛り」の誕生ー女の子とテクノロジーが生んだ日本の美意識』 久保 友香
 『アバターと共生する未来社会』 石黒 浩
 『私とは何かー「個人」から「分人」へ』 平野 啓一郎
 『擬 MODOKIー「世」あるいは別様の可能性』 松岡 正剛
 〈あわせて読みたい百考本〉4冊
 『脱アイデンティティ』 上野 千鶴子
 『江戸とアバターー私たちの内なるダイバーシティ』 池上 英子、田中 優子
 『アンドロイドは電気羊の夢を見るか？』 フィリップ・K・ディック、浅倉 久志（訳）
 『ポストトゥルース』 リー・マッキンタイア、大橋 完太郎（訳）
 15:40 対談「ほんのれん」とは
 「ほんのれん」の成立背景、大学で期待される価値、利活用のアイデア・可能性など
 編集工学研究所シニアプランナー 姜 舜伊
 大阪経済大学 図書館長 草薙 信照（副学長・情報社会学部教授）
 大阪経済大学学生
 16:10 質疑応答
 16:17 閉会挨拶 大阪経済大学 図書館長 草薙 信照（副学長・情報社会学部教授）



ほんのれんクロス



小冊子 旬感ノート

《「ほんのれん」について》

「ほんのれん」は、「問い」と「本」の力で「対話」を起こす“一畳ライブラリー”。オリジナルデザインの本棚に、思考の基盤となる100冊の本を丸善雄松堂（株）と（株）編集工学研究所がセレクトし、それをセットして提供。さらに、毎月新しい「問い」と5冊の本をお届けします。企業や地域のコミュニティスペースとして導入が進んでおりますが、大学での導入は大阪経済大学が初となります。

- ・HP ほんのれん <https://honnoren.jp/>
丸善雄松堂（株） <https://yushodo.maruzen.co.jp/>
（株）編集工学研究所 <https://www.eel.co.jp/>



 **MARUZEN-YUSHODO**

 **編集工学研究所**
EDITORIAL ENGINEERING LABORATORY

FAX: 06-4393-8216
MAIL: fukushima@planning-boat.com

《 F A X 返信用紙 》

大阪経済大学 広報デスク
 (プランニング・ボート内) 福嶋・井上 宛

本を媒介としたコミュニケーション装置「ほんのれん」全国の大学で初導入

教員と学生が本を囲んで対話する体験ワークショップを開催

【日時】 2024年5月31日(金)14:25~16:20 【場所】 大阪経済大学 図書館ラーニング・コモンズ

□ご取材

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	他 名様	
連絡先	TEL	E-Mail
当日のご連絡先	TEL	

《備考欄》 ご取材につきご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。

※お手数ではございますが、会場準備の都合上、5月30日(木)17時までに、
 お電話、メールもしくはFAX返信用紙にてご一報願います。